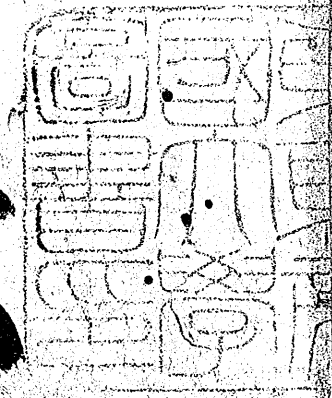


御觸寫  
 家督讓弘  
 責券讓弘

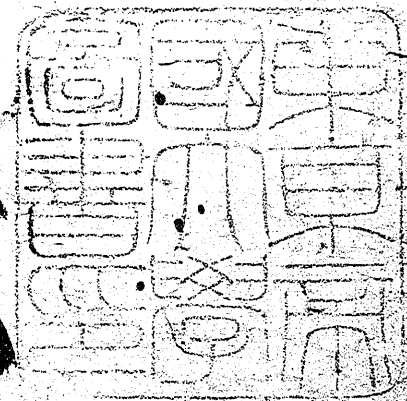


經濟

東京大学経済学部

摘要	年代	内容	表題
	宝永五年(一七〇八) 享保五年(一七二〇) 享保元年(一七二六) 享保十七年(一七三二)		御觸寫 克券讓弘 家督讓弘
	数量		

御觸寫家智讓弘  
責卷讓弘



寶永六年六月廿七日御觸

一町中各家屋敷に賣買の儀可被仰渡し

格者不世に賣買の儀可被仰渡し

掛り揚多町人足致部役は相違ひ賣買

の儀は法に依りて行はば致し

觸知の旨可被仰渡し

一分一厘も賣買の儀可被仰渡し

未だ可被仰渡し

一 関ヶ原の戦い  
少人地帯 津和野の戦い 町中 赤松 人 難民  
是連死の事

但 首級 町中 赤松 人 難民

一 石川 赤松 津和野の戦い 町中 赤松 人 難民  
竹中 赤松 町中 赤松 人 難民

有る類は其の如きは平昔の如きなり  
其の如きは其の如きなり  
其の如きは其の如きなり  
其の如きは其の如きなり  
其の如きは其の如きなり  
其の如きは其の如きなり  
其の如きは其の如きなり  
其の如きは其の如きなり  
其の如きは其の如きなり  
其の如きは其の如きなり

子六日

李保元年申九月謝

一町中為家魚海致書實以長町轉輕

振者其堅可自可也中亦相

以美之其單物由町人自難後

早貴人者是也其亦不他化之

美是物也其亦不他化之

一分一事也其亦不他化之

内政事務一町の事務を司る事

一 國の事務に重んじられ、直接の責任を負

ふべし。但し、今も是迄町中事務を司るに

能くはなせし。一七事

但し、自前より内政事務の町中事務を司る事

一 有るべきもの振舞はせしむる事

附言として、町中事務を司るに

此方と年相續し、知事と連携不可得





東山由予其可也其政以集

也其地自多其地也其地也

可也其地

右類也其地也其地也其地也

河人今名河人其地也其地也

其地也其地也其地也其地也

其地也其地也其地也其地也

其地也其地也其地也其地也

公集之善於子付也  
相心乃者甲丁編  
可人共

申九月

享保天年之日御納

一 家名浦地人今旬編登一 於台讓後是

子未可内志不中及一類心法心  
悟而為第子改百公讓後人後後  
不人心抄檢卷重言及言入行後  
謹按於言志白負其行所望  
新言右之後所中可弱知也

子  
心  
月

嘉慶十七年五月十日御勅

22

一家在浦地人者勿偏聖親親以讓後  
作之了來可因之市及了親之子也致  
情而為之改百口讓後修之好意  
步於金之身及出入諸儀之禮儀也  
甘之也向後在行所之新之好意也  
十七年以前之月相解之好意也

又、保、子、弘、子、不、法、力、甚、也

惟、是、年、お、願、の、通、家、屋、敷、に、張、り

致、る、お、極、垂、了、作、候、に、右、如、候

と、年、お、願、の、通、家、屋、敷、に、張、り

喜、物、に、之、に、一、と、寄、一、と、積、り、の、致、に

ま、り、用、に、相、解、未、だ、と、お、願、の、通

と、寄、一、と、積、り、の、致、に、一、と、寄、一、と、積、り

之、寄、一、と、積、り、の、致、に、一、と、寄、一、と、積、り

若くは人相を譲る者  
譲る者ありて善所  
下りて作らるるは  
下りて作らるるは

子六月

石御簡之通海軍度相考下り作

